

大阪城トライアスロン 2019  
エイジランキングイベント A 大会  
(大阪府大阪城)

報 告

日 時：2019年9月22日(日)

スタート：10時40分

参加者数：750人

距 離：スタンダードディスタンス 51.5 km

結 果：総合 11 位

(年齢別 1 位)

総合タイム 2 時間 09 分 35 秒 ([http://www.jtu.or.jp/results/2019/19osaka-castle\\_result.pdf](http://www.jtu.or.jp/results/2019/19osaka-castle_result.pdf))

スイム 1.5km 22 分 55 秒 (16) ・ バイク 40km 1 時間 09 分 07 秒 (16) ・ ラン 10km 37 分 12 秒 (12)

※ ( ) 内はカテゴリー順位

台風 17 号の接近に伴い開催が危ぶまれたが、当日朝 5 時に正式発表があることで開催を信じ現地入り。結論からいえば通常以上の風こそあったがそれを覆す良い天候の元、大阪城特設コースで開催された。

今回は 4 週連続の 4 戦目で先週意地での年代別優勝を獲得したこともあり、中止でもいいかな…と乗り込む前に一瞬思ってしまった。

そんな時に気持ちをもう一度たぎらせることは、相当な想いを抱かなければ難しいことは知っていた。競技会場へ行き気持ちを立て直しに入る。当日は曇りから晴れ間も見える天候になり見事な開催を迎える事ができ大いに盛り上がった。聞くところによれば、来年はワールドカップに各上がりする大会として成長するらしい。

初めてのコースを図面だけでは把握しきれていないことを実走して感じた。事前準備の大切さ、情報収集の大切さを欠いた形になった。バイク(自転車)のタイプが間違っていたことを実走を経て痛感したのだ。

7月の市街地のテクニカルコースで行う高松大会も、似たようなコース形態であった事で、今はこの形状のコースはトライアスロンバイクよりロードバイクの方が有利ということが自分の中で確定する。今後の状況判断の糧になった。

今回の大阪城開催のレースでは本人がびっくりしたことがある。それは様々な個所で私の名前を連呼し応援してくれる人の数だった。まるで地元で開催かと思うほど。

この現象が起きたのは私が発したマインドの言葉「あきらめなければ夢 100%」を信じてくれる人たちの行動だったと思っている。

今回、パフォーマンスは低かったが、それでもあきらめない姿を見せることが出来たのではないかと考えている。来月は地元福山市内でランキングイベントがある。そのあと月末に今季最後の日本選手権で今期が決定する。

今期ケガをせずに来ることができたのは、皆様を含めチームテツローとしていてくれる人たちのお陰だ。現在ランキングも 2 年越しのトップへ返り咲いた。最後にみんなが笑顔になってくれるカタチになれるようイメージを膨らませ精進していきたい。



